

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施			
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施 延べ回数	参加 延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由	
1 身体活動	(2)①	高齢者学級	自転車安全講習会の開催、介護予防体操等の教室の実施及び推進						○	地域活動推進課(市民センター)	生活環境課	○	1	13	自転車シミュレーターを体験したことで、安全に自転車に出掛けるきっかけとなった。	B	見直し	健康部門の高齢者事業が充実してきたため、世代を問わず、地域課題の解決に向けた事業、単発の高齢者向け事業等を実施する。
1 身体活動	(2)①	朝のラジオ体操	市民センターを会場にラジオ体操を実施	○	○	○	○	○		地域活動推進課(市民センター)	健康長寿課	○	毎日(閉館日を除く)	21,374	毎日の外出機会創出と適度な運動により、参加者の心身の健康維持に貢献した。	A	継続	
1 身体活動	(2)①	生きがいハビリ交流事業「笑うひまわりサロン」	富士見地域の高齢者の介護予防を目的としたサポーターによるサロンの運営補助						○	地域活動推進課(市民センター)	健康長寿課	○	18	257	介護予防を目的とした健康体操の実施や高齢者の運動機能測定などを実施し、継続的な健康管理の必要性を参加者に周知・啓発できた。	A	継続	
1 身体活動	(1)② (2)① (4)①	生きがいハビリ交流サロン(ほほえみ)	介護予防体操、折紙、ぬり絵、童謡等の実施(体操:つるフィットの協力)						○	地域活動推進課(市民センター)	健康長寿課 介護予防ボランティア「つるフィット」		23	155	折り紙や塗り絵、体操などを楽しみながら行うことができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)①	南市民センター「ときめきサロン」	介護予防体操等の講座の実施						○	地域活動推進課(市民センター)	民生委員・児童委員				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止。		継続	
1 身体活動	(2)② (4)②	東武健康ハイキング	4月8日～10日の3日間、東武鉄道と連携し、約12kmの道のりをコースとしたハイキングイベント		○	○	○	○		産業振興課	東武鉄道株式会社 東武トップツアーズ株式会社 健康長寿課		1	約1,200	初めての実施であったが、想定を遥かに上回る方にご参加いただき、市の魅力発信や健康づくりに資することができた。	B	見直し	東武鉄道側が中心となり、共同して実施する事業であるため、年度ごとに方向性を見直す必要がある。
1 身体活動	(2)①	埼玉県コバトン健康マイレージ事業	「今より1日1,000歩多く歩こう」を目標とした健康づくり運動(専用歩数計及びアプリによるウォーキングの普及)						○	健康長寿課	埼玉県健康長寿課		-	2,896	参加者数が163.9%増加し、ウォーキングの普及が図られた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
1 身体活動	(2)① (2)②	埼玉県コバトン健康マイレージ市民参加促進抽選会 (規定歩数達成者対象)	市が設定したウォーキング強化月間の規定歩数達成者に市産品等賞品が当たる市民限定抽選会「てくてく大抽選会」			○	○	○	健康長寿課	埼玉県健康長寿課 鶴ヶ島市商工会		1	1,088	参加者のアクティブ率を増加させることができ、ウォーキングの普及が図られた。	A	継続	
1 身体活動	(2)① (2)②	埼玉県コバトン健康マイレージ市民参加促進抽選会 (ウォーキングスポット提供者対象)	市が設定した規定歩数達成が困難な市民もウォーキングを楽しめるよう、ウォーキングスポット提供者に市産品等賞品が当たる市民限定抽選会「てくてく大抽選会」			○	○	○	健康長寿課	埼玉県健康長寿課		1	15	応募されたウォーキングスポット写真を市ホームページに掲載し、無理なく楽しく継続するウォーキングの普及が図られた。	A	継続	
1 身体活動	(1)② (2)① (4)②	定例健康ウォーク	ウォーキングの継続的な定着化を支援			○	○	○	健康長寿課	鶴ヶ島ウォーキングクラブ		10	117	リピート参加者が増え、ウォーキングの習慣化が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)② (2)①② (4)②	元気にラジオ体操教室!	地域のラジオ体操の普及啓発			○	○	○	健康長寿課	ラジオ体操連絡会 一般財団法人簡易保険加入者協会		2	184	健康に効果的なラジオ体操の普及が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)② (2)①② (4)②	介護予防教室「ストレッチ教室」	生活機能の低下予防を図るストレッチ教室					○	健康長寿課			12	211	自宅でもできるストレッチを紹介することで、運動の習慣化が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)② (2)①② (4)②	介護予防教室「はつらつ元気体操クラブ」	介護予防に有効な体操教室					○	健康長寿課	健康運動指導士		139	3,315	自宅でもできる体操を紹介することで、運動の習慣化が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)② (2)①② (4)②	介護予防教室「こっこつ時筋体操教室」	運動器の機能維持・向上を図る体操教室					○	健康長寿課	地域包括支援センター		180	914	参加者の健康状態に合わせた運動を実施することで、運動機能低下の予防が図られた。	B	見直し	介護予防の機会の確保を図るため、会場を1か所増やす。

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施			
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施 延べ回数	参加 延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由	
1 身体活動	(2)①	保健事業と介護予防の一体的推進事業	フレイル予防の普及啓発と、虚弱高齢者の早期把握による三位一体（運動・栄養（食・口腔）・社会参加）の包括的な取組み 【フレイルチェック測定会及び歯科講座、栄養・口腔・生活習慣病重症化・健康状態不明者等々のハイリスク者への訪問指導】						○	健康長寿課	保健センター 保険年金課		講座 28 個別支援 126	講座 292 個別支援 126	フレイル予防に関する身体活動の重要性について意識向上が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)② (2)①	逆木荘ますます元気健康クラブ	介護予防に有効な体操教室（介護予防ボランティア「つるフィット」との連携事業）						○	健康長寿課 (老人福祉センター)	つるフィット	○	21	211	自宅でもできる体操を紹介することで、運動の習慣化が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)②	逆木荘フレイル予防教室	軽い運動と健康器具を使った軽い筋トレ						○	健康長寿課 (老人福祉センター)		○	20	153	高齢者に対しフレイルについて知識の普及啓発が図られた。	B	継続	
1 身体活動	(1)②	逆木荘グラウンドゴルフ初心者教室	グラウンドゴルフを始めようとしている高齢者を対象とした教室						○	健康長寿課 (老人福祉センター)		○	12	101	グラウンドゴルフの普及が図られた。また、教室参加者をサークル活動につなげることができた。	B	継続	
1 身体活動	(2)① (2)②	健康ウォーキングマップの改訂	気軽にウォーキングを楽しめる健康ウォーキングマップの改訂及び配布						○	健康長寿課	鶴ヶ島ウォーキングクラブ、生涯学習スポーツ課		-	-	ウォーキングの普及促進が図られた。	B	廃止	改訂が終了したため。 (作成した8,000部を継続して活用・配布する)
1 身体活動	(4)① (4)②	ラジオ体操会立ち上げ及び活動支援	ラジオ体操会に対する講習会指導者派遣及び団体へのCDラジオデッキ貸出を実施						○	健康長寿課	ラジオ体操連絡会 かんぽ生命保険		3	70	ラジオ体操連絡会加入団体が5団体増加し、ラジオ体操の普及拡大に資することができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)② (4)②	シルバーeスポーツ体験とスマホ教室	家庭用テレビゲーム機を活用したシルバーeスポーツの認知症予防イベントと初めてのスマートフォン講座						○	健康長寿課			8	82	生きがいづくり、仲間づくり、世代間交流など高齢者の社会参加の創出、デジタルデバイス解消が図られた。	A	廃止	シルバーeスポーツ等継続支援業務が開始したため。

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施			
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由	
1 身体活動	(2)② (4)②	シルバーeスポーツ体験と脳トレ体験(認知症維持効果検証)	シルバーeスポーツを行う前後で脳トレ問題(認知症機能検査)を行い、認知機能維持の効果検証を実施						○	健康長寿課			2	24	生きがいつくり、仲間づくり、世代間交流など高齢者の社会参加の創出と認知症予防につながった。	A	廃止	認知症維持効果検証が終了したため。
1 身体活動	(2)② (4)②	シルバーeスポーツ記念イベント	シルバーeスポーツと健康づくりをテーマにパネルディスカッションや体験会を実施						○	健康長寿課			1	22	生きがいつくり、仲間づくり、世代間交流など高齢者の社会参加の創出と認知症予防につながった。	A	廃止	新規事業のキックオフイベントが終了したため。
1 身体活動	(2)② (4)②	シルバーeスポーツ体験とスマホよろず相談	シルバーeスポーツ継続支援とスマホよろず相談を実施						○	健康長寿課	老人福祉センター指定管理者(シルバー人材センター)		30	551	生きがいつくり、仲間づくり、世代間交流など高齢者の社会参加の創出、デジタルデバйд解消が図られた。	A	継続	
1 身体活動	(1)①	市内公共交通運行事業	つるバス・つるワゴンを運行することにより、買物や市民活動など、市民の移動手段の確保と利便性を図る。	○	○	○	○	○		都市計画課	健康長寿課 障害者福祉課 保健センター こども支援課		-	-	運転席と後部座席の間への間仕切り設置など、感染症対策を実施しながら運行を継続することができた。令和4年度は乗車人数が過去最高であった。	A	継続	
1 身体活動	(1)①	公園や緑地等の整備の推進	ウォーキングやランニングまたは軽運動などが安全にできる環境整備	○	○	○	○	○		都市計画課			-	-	公園維持管理においては、市民の利便や安全に寄与した公園の整備や管理を行った。また、新規の公園整備にあたり、ワークショップを通じ市民の意見を募る取り組みを行った。	A	継続	
1 身体活動	(1)①	未来の森づくり事業	散策など軽運動ができる環境整備	○	○	○	○	○		都市計画課	つるがしま里山サポークラブ 大谷川源流の会		-	-	みどりの保全事業で、市民の森等の整備・維持管理等を行い、快適に散策等を行える環境整備を行った。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
1 身体活動	(1)①	都市計画道路整備事業	安全な道路などの整備	○	○	○	○	○	道路建設課			-	-	市道1015号線の道路改築工事を実施し、歩道を整備することで運動しやすい環境整備が図られた。	A	廃止	令和5年度に工事予定がないため。
1 身体活動	(1)①	道水路整備事業	安全な道路などの整備	○	○	○	○	○	道路建設課			-	-	3路線の道路改築工事を実施し、運動しやすい環境整備が図られた。	A	廃止	令和5年度に工事予定がないため。
1 身体活動	(2)①	小・中学校の取組	体力テストや持久走、運動会・体育祭、縄跳び大会、体育朝会など運動する機会を通し、身体活動を推進		○				学校教育課	PTA 学校応援団 教育センター	○	-	-	様々な活動の実施により、楽しみながら体づくりをすることができた。	B	継続	
1 身体活動	(2)① (2)② (4)②	第29・30回鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	「子どもの運動能力を最大限発揮するために知っておきたいこと!」、 「小学生から高校生までのスポーツへの取り組みを考える」をテーマに プロスポーツ指導者等を招き講習会を開催		○	○	○	○	生涯学習スポーツ課	東洋大学		2	52	市民の運動能力やスポーツ指導に対する意識・意欲の向上に資することができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)①	第73回鶴ヶ島市民体育祭 エンジョイス スポーツミーティング	誰もが気軽に参加でき、スポーツに親しむことができるスポーツイベント	○	○	○	○	○	生涯学習スポーツ課	スポーツ協会 ラジオ体操連絡会		1	1,111	運動機会の少ない人にもスポーツに触れてもらい、体を動かすことの楽しさについて普及することができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)①	第12回鶴ヶ島市民陸上競技記録会	整備された陸上競技場で行う記録会		○	○	○	○	生涯学習スポーツ課	スポーツ協会		1	165	本格的な競技場での開催により、競技者の意識向上に資することができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)①	第35回県民総合スポーツ大会 第40回 鶴ヶ島駅伝競走大会	5人1チーム、全長10kmまたは15kmの コースを継走する駅伝大会		○	○	○	○	生涯学習スポーツ課	スポーツ協会 ラジオ体操連絡会		1	432	チームで共通の目標に向かう一体感を醸成することができた。	A	継続	
1 身体活動	(2)① (4)① (4)②	スポーツ教室	ニュースポーツ「モルック」及び 「ラケットテニス」教室の開催		○	○	○	○	生涯学習スポーツ課	スポーツ推進委員連絡協議会		2	42	ニュースポーツについて、普及啓発を行うことができた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(1)①	市ホームページに健康増進サイトを開設	健康増進サイト「キラキラ健康づくり」の運営及びサイト内における食育・食生活改善に関する周知啓発			○	○	○	秘書広報課	健康長寿課	○	-	-	周知の必要が高いと思われるものについては、広報紙やSNSからHPへ誘導するなど、複数媒体を組み合わせた情報発信を行った。	B	継続	
2 食生活・食育	(1)①	子ども料理教室	夏休み子ども体験教室において、子ども料理教室等の実施		○				地域活動推進課（市民センター）	サークル	○	1	21	子ども自らがパンを手作りすることにより、料理の楽しさや達成感を感じることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1)①	高齢者学級	栄養指導や調理実習の実施					○	地域活動推進課（市民センター）	健康長寿課、食生活改善推進員協議会		1	24	試食をしながら、栄養について学ぶことができた。	A	見直し	単発の高齢者向け事業や、対象範囲を広げた事業としての実施を検討するため。
2 食生活・食育	(2)②	第8回環境おしゃべりカフェ「もったいない 食品ロスをなくそう」	食品ロス削減に向けた取組の一環として本市とエコ鶴市民の会が協働して食品ロス専門家を招き、講演会を実施		○	○	○	○	生活環境課	エコ鶴市民の会 コープデリ生活協同組合連合会	○	1	54	食品ロスだけでなく、環境に配慮した食事づくりについての意識啓発が図られた	A	継続	
2 食生活・食育	(2)②	環境月間での食品ロス削減啓発展示	6月の環境月間に合わせて庁舎1階ロビーに食品ロス削減啓発ポスターを展示		○	○	○	○	生活環境課		○	1	-	食品ロス削減の意識啓発が図られた	B	継続	
2 食生活・食育	(2)②	広報特集による啓発	10月の食品ロス削減月間に合わせて食品ロス削減啓発記事を掲載		○	○	○	○	生活環境課		○	1	-	食品ロス削減の意識啓発が図られた	B	継続	
2 食生活・食育	(2)②	食品ロス削減月間での食品ロス削減啓発展示	10月の食品ロス削減月間に合わせて庁舎1階ロビーに食品ロス削減啓発ポスターを展示		○	○	○	○	生活環境課		○	1	-	食品ロス削減の意識啓発が図られた	B	継続	
2 食生活・食育	(2)②	地球温暖化防止月間での食品ロス削減啓発展示	12月の地球温暖化防止月間に合わせて「食品ロス削減家計簿手帳」を展示した。また、エコ鶴市民の会で募集した食品ロス削減に向けたアイデアの集計結果等を展示		○	○	○	○	生活環境課	エコ鶴市民の会	○	1	-	食品ロス削減の意識啓発が図られた	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(4)②	市役所朝市	地産地消を推進するための農産物の販売	○	○	○	○	○	産業振興課	つるがしま市役所朝市実行委員会	○	8	約1,660	生産者と消費者が対面で販売し交流を図ることで、相互理解を育み、新鮮で安心・安全な地元野菜のPRと消費拡大を図ることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(4)②	都市農業活性化推進事業	観光農業のPR活動に関する支援	○	○	○	○	○	産業振興課	つるがしま観光農園協会		17	約190	消費者が自ら農作物の収穫等を体験し、農業と食について学ぶことができた。	A	継続	
2 食生活・食育	(4)②	産業まつり	市内事業者を中心に出店を募り、市の産業のPRを図る	○	○	○	○	○	産業振興課	商工会 JAVいるま野		1	約43,000	市で生産された野菜の販売や市内飲食店による出店により、地元で作られた安心安全な食物を多くの市民に普及することができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1)①	野菜収穫体験（農業交流センター事業）	竹の子掘り、栗ひろい、里芋掘り、じゃがいも栽培・収穫、夏の収穫（とうもろこし、枝豆）体験を実施	○	○	○	○	○	産業振興課 (農業交流センター)			13	467	様々な野菜の収穫等の体験を通じ、農業と食について学ぶ機会を提供できた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	郷土料理教室・小学生夏休み講座（農業交流センター事業）	ひもかわうどん作り・手作り味噌講習会・講座「食品リサイクルについて学ぼう」を実施		○	○	○	○	産業振興課 (農業交流センター)			5	67	講座の実施により、食生活について学ぶ機会を提供できた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	市民農園貸出し（農業交流センター事業）	市民農園の貸出しを行う（農業交流センター、五味ヶ谷、太田ヶ谷、下新田）					○	産業振興課 (農業交流センター)	シルバー人材センター		-	利用状況 405区画 /455区画 利用率 89.0%	野菜の栽培・収穫を通じ、食について学ぶ機会を提供できた。	A	継続	
2 食生活・食育	(4)②	新茶キャンペーン	市特産品である狭山茶の販売	○	○	○	○	○	産業振興課	鶴ヶ島市茶業協会	○	1	約400	生産者と消費者が対面で販売し交流を図ることで、相互理解を育み、新鮮で安心・安全な地元野菜のPRと消費拡大を図ることができた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(1) ①	小学生向け学習支援事業	生活困窮世帯の小学生を対象とした学習支援(食育を含む)		○				福祉政策課	NPO法人カローレ こども支援課 学校教育課 教育センター		34	102	収穫、調理、食事の一貫した体験により食生活・食育について総合的に学ぶ機会を提供できた。	B	継続	
2 食生活・食育	(4) ②	子どもの貧困対策活動支援事業	食料支援活動に関する情報提供等を行うインターネット上のサイトの構築と運営を行うNPO法人カローレへの補助を行う。	○	○	○	○		こども支援課	NPO法人カローレ		-	-	「つるがしま子ども応援サイト」が適切に運営され、必要な家庭へ情報が届けられた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1) ① (2) ②	児童館の取組	児童とその保護者に向けて、子育て講座などで食育を推進する。	○	○	○	○		こども支援課 (児童館)			2	10	食に関する取り組みを通して、環境問題や食品ロスについて学び、食に関する興味関心が深くなった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1) ② (2) ②	保育所の取組	野菜の栽培や収穫、料理までの体験や、地元産物や行事食を取り入れた給食を通じた食育の推進を図る。	○					こども支援課 (保育所)			288	35,962	取組を通して子ども達が食に対する興味・関心を持ち、食の大切さ、作る喜びを知ることができた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1) ① (2) ①	食育推進講演会及び講座	食育への関心を深める講座(野菜摂取推進・災害時の食事・食品ロス)		○	○	○	○	健康長寿課	女子栄養大学 危機管理課 エコ鶴市民の会 生活環境課		3	94	自分の食生活を振り返る機会の創出を図ることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1) ① (2) ①	食事バランス料理教室(食事バランス委託事業)	運動効果を高める食生活や、地産地消の普及、高齢者の食事等の食事バランスの普及を目的に行う料理教室			○	○	○	健康長寿課	食生活改善推進員協議会		1	58	料理教室を通じたバランスの良い食事の普及啓発ができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1) ① (2) ① (4) ①	食育の普及啓発(食事バランス委託事業)	食育アドバイザー鶴のえがおによるフレイル予防の食事講話					○	健康長寿課	食生活改善推進員協議会		3	13	フレイル予防の食生活について普及啓発ができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(3) ① (4) ①	食生活改善推進員養成講座	市民ボランティアとして地域へ食育の普及啓発をする食生活改善推進員の養成講座			○	○	○	健康長寿課	食生活改善推進員協議会 女子栄養大学		9	61	8名の食生活改善推進員を養成することができ、体制の強化が図られた。	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施 延べ回数	参加 延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(2)① (4)①	保健事業と介護予防の一体的推進事業	フレイル予防の普及・啓発と、虚弱高齢者の早期把握による三位一体(運動・栄養(食・口腔)・社会参加)の包括的な取組み 【フレイルチェック測定会・歯科講座の開催、栄養、口腔、生活習慣病重症化、健康状態不明者等のハイリスク者への訪問指導】						○ 健康長寿課	保健センター 保険年金課		再掲 講座 28 個別 支援 126	再掲 講座 292 個別 支援 126	フレイル予防に関する食生活の重要性について普及啓発することができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(2)② (4)①	広報特集による啓発「おうちでクッキングのすすめ」	高齢者向け健康レシピを掲載						○ 健康長寿課		○	4	-	健康な食生活を考えるきっかけづくりができた。	B	見直し	作成されているレシピの掲載がほぼ終了したため、新たなテーマで市広報へのレシピ掲載を行う。
2 食生活・食育	(3)①	特定保健指導	食生活、食事バランスなどの栄養指導						○ 保険年金課	医師会 スギ薬局 ウエルシア薬局		年度内に 1回	83	生活習慣改善やメタボリックシンドロームの改善に寄与した	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	ゆりかご教室(両親学級)	両親を対象にした栄養講話						○ 保健センター			4	44	妊娠期の望ましい食生活についての普及啓発が図られた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	10ヶ月児健康相談	栄養相談指導	○					○ 保健センター			12	198	離乳食期の児の食事についての保護者の悩みの軽減につながった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	1歳6ヶ月児健康診査	栄養相談指導	○					○ 保健センター			12	21	幼児期の児の食事についての保護者の悩みの軽減につながった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	3歳児健康診査	栄養相談指導	○					○ 保健センター			12	6	児の食事についての保護者の悩みの軽減につながった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	もぐもぐ教室	離乳食の講話と試食	○					○ 保健センター			5	44	離乳食についての保護者の悩みや不安の軽減につながった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	乳幼児すこやか相談	栄養相談指導	○					○ 保健センター	こども支援課		6	67	離乳食期から幼児期の児の食事についての保護者の悩みの軽減につながった。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(1)①	2歳児歯科健康診査	栄養相談指導	○		○	○		保健センター			12	30	幼児期の児の食事についての保護者の悩みの軽減につながった。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)② (4)②	小・中学校の取組	野菜の栽培やバランスの良い食事などに関する食育の授業、給食献立掲示・校内放送・交歓給食・給食感謝の会・保健だよりなどにおける給食栄養指導を通して食育を推進		○				学校教育課	学校給食センター		—	—	様々な取組により食育を推進することで、食の大切さを学習することができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1)① (2)②	「食」に関する本の展示（一般書）	期間を決めて「食」をテーマにした本を展示				○	○	生涯学習スポーツ課		○	2	—	特集展示により、食育の普及啓発が図られた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)① (2)②	「食育」に関する絵本の展示（児童書）	「食育」につながる児童書の展示	○	○	○			生涯学習スポーツ課		○	1	—	特集展示により、食育の普及啓発が図られた。	A	継続	
2 食生活・食育	(2)①②	学校給食の献立に関することや行事食についての文書配付	月々の献立について、献立作成の意図、行事食の意味や意義、旬の食材紹介などに関する資料を各小・中学校の食育主任に配付			○	○	○	学校給食センター		○	11	—	食や健康への意識を高めることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(2)①②	放送資料	日々の献立から抜粋したメニューや食材、行事食の由来など、給食時間に放送するための食に関する資料を各小・中学校に配付			○			学校給食センター		○	26	—	食や健康への意識を高めることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(1)①	夏休み学校給食センター厨房探検	普段は立ち入ることのできない調理場を夏休みに活用し、給食調理場を見学し、食に関する学習を図る			○	○	○	学校給食センター	(株)鶴ヶ島学校給食サービス	○	1	—	食や健康への意識を高めることができた。	A	継続	
2 食生活・食育	(1)①	親子料理教室	親子で楽しい調理体験と試食			○	○	○	学校給食センター	(株)鶴ヶ島学校給食サービス	○			新型コロナウイルス感染拡大防止中止		継続	
2 食生活・食育	(2)①②	学校給食センターだより	旬の食材を活用した簡単朝ごはんレシピを掲載した給食センターだよりを児童生徒の全家庭に配付			○	○	○	学校給食センター		○	5	—	食や健康への意識を高めることができた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施 延べ 回数	参加 延べ 人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
2 食生活・食育	(2)①	学校給食予定献立表	献立、主な食品名、エネルギー量、たんぱく質などを記載		○	○	○		学校給食センター		○	11	-	食や健康への意識を高めることができた。	B	継続	
2 食生活・食育	(4)①②	学校訪問	栄養教諭などによる栄養指導		○				学校給食センター		○	56	-	児童・生徒が食や健康について学び、日々の食生活の意識を高めることができた。	A	継続	
2 食生活・食育	(2)①②	給食だより	食事のマナーや食品、衛生、給食に関することや鶴ヶ島市で生産されている食べ物のことなど、月ごとにテーマを決めて毎月児童生徒向けの資料を作成し、各小・中学校に配付		○				学校給食センター		○	11	-	食や健康への意識を高めることができた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(2)①	講座「バーチャル工場見学&オリジナル『マルちゃん焼そば』づくり」	男性のワーク・ライフ・バランスを推進する講座（父と子対象）		○		○		政策推進課（女性センター）	東洋水産株式会社埼玉工場	○	1	31	ワーク・ライフ・バランスの周知を図った。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)② (2)②	メンタルヘルス研修の実施	職員のこころの健康の保持増進を図るための研修会				○	○	人事課			2	42	職員の心を元気にするセルフケアを実施し、メンタルヘルス不調の未然防止を図られた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)② (2)②	ストレスチェックの実施	職員の心理的な負担の程度を把握し、こころの健康を保持推進するためのストレスチェック				○	○	人事課			1	495	職員自身のストレスへの気づきを促し、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	地域支え合い推進事業	市民、NPO、市民団体や企業等の連携協働により地域の課題を地域で解決する支え合いの仕組みづくりを支援する	○	○	○	○	○	地域活動推進課	地域支え合い協議会		-	-	各地域の特性に応じた支え合いの仕組みづくりを支援することができた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	地域デビューきっかけ広場事業	地域活動に参加していないシニアを対象に、地域活動に参加するきっかけとなるような事業を実施					○	地域活動推進課			1	150	特に人員の足りていない西部地区においてイベントを開催。地域に新規参画する方が増えた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
3 休養・こころの健康	(3)① (4)①	自殺対策推進事業	市民や様々な職種向けのゲートキーパー養成		○	○	○	○	障害者福祉課			2	25	複数の生活課題を抱え心理的危機に陥っている市民に早期に気づき、適切に対応できる「ゲートキーパー」となるための、新規採用職員や窓口担当職員の知識と技能の向上を図ることができた。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(2)②	メンタルヘルス講演会	市民を対象とした心の健康づくりに関する啓発		○	○	○	○	障害者福祉課	坂戸保健所、坂戸市、越生町、毛呂山町、鳩山町	○	1	53	依存症に対する正しい知識を学ぶことで、市民の心の健康の維持増進につながった。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(2)②	こころの健康相談	精神科医による精神保健に関する本人、家族の相談	○	○	○	○	○	障害者福祉課			12	52	様々な心の問題を抱える市民に対し、精神科医師による健康相談を実施したことで、不安の解消につながった。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)② (4)①	子育て包括相談・支援事業	妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、関係機関との連携により切れ目のない支援を提供する。さらに必要に応じて養育支援サポーターを派遣する。	○	○	○			子ども支援課	保健センター		1,369	-	子育て支援制度のスムーズな利用促進が図られた。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	つどいの広場運営事業	親子が気軽に集える場所を提供し、専門のスタッフが子育ての相談を受けることで、身近な地域で子育てを支援する。	○		○	○		子ども支援課			32	143	助産師による産達や育児に関する相談室の実施により、育児負担の軽減を図ることができた。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)②	児童・家庭総合相談窓口事業	家庭内の問題に関する相談に総合的かつ適切に対応するため、専門的な相談員を配置し、関係機関と連携しながら相談機能の充実・強化を図る。	○	○	○	○	○	子ども支援課	女性センター		-	-	関係機関と連携しながら相談機能の充実・強化が図られた。 【参考実績】 ・児童相談対応件数322件 ・女性相談（延べ人数）523人 ・DV相談（延べ人数）205人	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
3 休養・こころの健康	(2)② (4)①	広報特集による啓発「睡眠・適正飲酒・禁煙のすすめ」	休養や心の健康情報の提供	○	○	○	○	○	健康長寿課		○	1	-	睡眠や飲酒が心身に及ぼす影響、生活習慣の見直しについて普及啓発が図られた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(4)①	介護予防教室「認知症予防脳トレ教室」	認知症予防のための脳トレを実施						健康長寿課			24	291	自宅でもできる内容の脳トレ・運動プログラムを実施することで、認知症予防の普及啓発が図られた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(2)② (4)①	介護予防教室「ますます元気教室」	身体の活動性を高め、うつ予防や脳の活性化につながる教室						健康長寿課	地域包括支援センター		66	565	多様なプログラムを実施することで、認知症・閉じこもり・うつの予防が図られた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(2)② (3)①	認知症サポーター養成講座	認知症の本人や家族を見守り、支援するサポーターを養成する講座			○	○	○	健康長寿課	全国キャラバンメイト協議会		9	430	認知症サポーターを養成することで、認知症に対する正しい知識等の普及啓発が図られた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(4)①	保健事業と介護予防の一体的推進事業	フレイル予防の普及啓発と、虚弱高齢者の早期把握による三位一体（運動・栄養（食・口腔）・社会参加）の包括的な取組み 【フレイルチェック測定会及び歯科講座、栄養・口腔・生活習慣病重症化・健康状態不明者等々のハイリスク者への訪問指導】						健康長寿課	保健センター 保険年金課		再掲 講座 28 個別 支援 126	再掲 講座 292 個別 支援 126	フレイルに関するうつ予防などこころの健康の重要性について普及啓発することができた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	ようこそ鶴ヶ島で子育て	地域で孤立しやうい親子が参加者同士交流し、保護者の支援、養育環境の安定強化を図る。	○		○			保健センター	こども支援課（鶴ヶ島子育てセンター）	○	17	92	対象者を多胎児の保護者、仲間が欲しい親子、40代の保護者、発達心配な子を持つ保護者、精神的問題を抱えた保護者が、それぞれがもつ育児の悩みを共有し、負担を軽減できた。	A	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施			
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由	
3 休養・こころの健康	(1)①	親子相談	子どもの発達や親自身の育児不安の相談の場として専門職による相談を実施	○		○				保健センター	こども支援課(子育て支援担当、発育支援センター) 光の家療育センター		41	230	こどもの発達や親自身の不安に寄り添い相談支援を行い、不安の軽減につながった。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	母子健康包括支援事業(子育て世代包括支援センター事業)	妊娠期から子育て期まで継続して保健師・助産師が相談支援を実施(子育て包括相談・支援事業と関連)。産後ケア事業では、支援が必要な母子に対して休養の機会を提供し支援を行う。	○		○				保健センター	こども支援課		-	-	妊娠期から子育て家庭への切れ目のない支援を行い、子育ての不安や負担感の軽減が図られた。妊娠届出時に専門職種が全数460件と面談(妊娠届419件+転入41件)した。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	ゆりかご教室	妊婦とその家族を対象として、妊娠中や子育て期の家族の健康や子育てに関する知識を伝え、妊婦同士の仲間づくりのための教室	○		○				保健センター			4	44	子育ての孤立化、妊婦同士の仲間づくり、父親の参加による父性役割の芽生えを図ることができた。	A	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	児童館における子育て相談	身体測定及び発育発達・子育てに関する助言・指導を実施	○		○				保健センター	こども支援課(児童館)	○	13	190	育児の不安の軽減を図ることができた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)①	乳幼児すこやか相談	乳幼児の身体測定・保健相談・栄養相談・歯科相談・母乳相談を実施	○		○				保健センター	こども支援課(支援担当)		6	127	育児の不安の軽減を図ることができた。	B	継続	
3 休養・こころの健康	(1)① (2)② (4)①	小・中学校の取組	授業などでの保健学習や児童・生徒に対する教育相談日などの設定、さわやか相談室の利用促進啓発などこころの健康づくりを実施する。また、児童・生徒・保護者に対する巡回相談員や臨床心理士による相談活動などを行う。			○				学校教育課	教育センター		-	-	スクールカウンセラーを配置し、相談員の技術向上を図ることで、児童・生徒の心の健康づくりを実施した。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(2)①② (3)①	口腔フレイル予防講座	口腔フレイル予防を普及啓発する講座「ささいなお口のトラブルをあきらめないで～健やか生活のヒント伝授します～」					○	健康長寿課	保健センター 歯科医師会		4	50	口腔フレイルに関する普及啓発が図られた。	B	継続		

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
4 歯・口腔の健康	(2)② (3)①	保健事業と介護予防の一体的推進事業	フレイル予防の普及啓発と、虚弱高齢者の早期把握による三位一体（運動・栄養（食・口腔）・社会参加）の包括的な取組み 【フレイルチェック測定会及び歯科講座、栄養・口腔・生活習慣病重症化・健康状態不明者等々のハイリスク者への訪問指導】					○	健康長寿課	保健センター 保険年金課		再掲 講座 28 個別 支援 126	再掲 講座 292 個別 支援 126	フレイル予防に関する歯・口腔の重要性について普及啓発することができた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)② (2)② (3)①②	歯周病検診	30歳以上の市民を対象に歯科診察、ブラッシング指導、唾液pHテスト					○	保健センター	歯科医師会 歯科衛生士会		5	90	保育付きの検診日を設けたことにより青年期の受診の増加につなげることができた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)② (2)② (3)①②	ゆりかご教室(両親学級)	両親を対象とした歯科講話					○	保健センター			4	44	妊娠期の口腔の変化や知識及び口腔ケアの普及啓発が図られた。	A	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)① (2)②	1歳6ヶ月児健康診査	歯科検診、歯みがき指導	○		○	○		保健センター	歯科医師会 歯科衛生士会		12	405	虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)① (2)②	2歳児歯科健康診査	歯科検診、歯みがき指導、フッ素塗布(希望者)	○		○	○		保健センター	歯科医師会 歯科衛生士会		12	406	虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)① (2)②	3歳児健康診査	歯科検診、歯みがき指導	○		○	○		保健センター	歯科医師会 歯科衛生士会		12	428	虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)①	10ヶ月児健康相談	歯みがきの始め方、虫歯のリスク、ケガの対処方法など乳歯のお手入れ方法	○		○	○		保健センター	歯科衛生士会		12	416	正しい乳歯のケア方法及び虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)①	もぐもぐ教室	離乳食摂取時期の乳歯のお手入れ方法	○		○	○		保健センター			5	44	離乳食摂取時期の正しい口腔ケア及び虫歯予防の普及啓発が図られた。	A	継続	
4 歯・口腔の健康	(1)①	歯みがき大好き事業(乳幼児対象)	歯科保健指導、歯みがき指導	○					保健センター			19	365	虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパ ワー 事業	実施 延べ 回数	参加 延べ 人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
4 歯・口腔 の健康	(1)① (2)②	歯みがき大好き事業 (学童等対象)	歯科保健指導、歯みがき指導		○				保健センター			1	3	虫歯予防の啓発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔 の健康	(1)①② (2)② (3)①②	プレママ&親子の歯 みがき教室	妊婦や親子とその家族を対象とした 歯みがき教室	○	○	○	○	○	保健センター			6	20	妊婦や親子とその家族 を対象として口腔ケア 及び虫歯予防の普及啓 発が図られた。	B	継続	
4 歯・口腔 の健康	(1)① (2)① (3)①	小・中学校の取組	食後にうがいや歯磨きを励行するな どの歯磨きキャンペーンの実施、歯 科検診や歯科保健指導を児童・生徒 に行う。また、保健だよりの発行、 就学時健診での講話などで児童・生 徒・保護者への啓発活動を行う。		○				学校教育課	保健センター 歯科医師会		-	-	他部局と連携しなが ら、効果的に歯の健康 や虫歯予防に対する意 識啓発ができた。	B	継続	
4 歯・口腔 の健康	(1)① (2)①	アペルト歯磨き指導 教室	適応指導教室に通う児童生徒を対象 に、歯科衛生士が歯磨き指導		○				教育センター	保健センター	○	1	1	キシリトールについて 健康的な歯を保つ正しい 知識を学べた。	A	継続	
5 たばこ・ アルコール	(2)①	受動喫煙防止啓発	受動喫煙防止及びたばこポイ捨て禁 止ポスターを若葉駅西口周辺の自販 機及び鶴ヶ島駅西口周辺の民間駐輪 場に掲示	○	○	○	○	○	健康長寿課	生活環境課	○	2	-	受動喫煙防止及び喫煙 マナー向上に係る注意 喚起が図られた。	B	継続	
5 たばこ・ アルコール	(2)①	受動喫煙防止啓発 ティッシュの作成	受動喫煙防止・ポイ捨て禁止啓発 ティッシュを駅周辺で配布	○	○	○	○	○	健康長寿課	生活環境課		1	1,000	受動喫煙防止及び喫煙 マナー向上に係る啓発 が図られた。	B	継続	
5 たばこ・ アルコール	(2)② (3)①	広報特集による啓発 「喫煙について考え よう！～5月31日 は世界禁煙デーです ～」、「睡眠・適正 飲酒・禁煙のすすめ」	喫煙及び受動喫煙による健康への害 を周知啓発	○	○	○	○	○	健康長寿課		○	2	-	受動喫煙及び三次喫煙 の健康被害の防止啓発 が図られた。	B	継続	
5 たばこ・ アルコール	(2)① (3)①	広報特集による啓発 「睡眠・適正飲酒・ 禁煙のすすめ」	多量飲酒による健康への害、適正飲 酒などアルコールに関する健康情報 の提供	○	○	○	○	○	健康長寿課		○	1	-	飲酒による心身への影 響や適度な飲酒につい て普及啓発が図られ た。	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
5 たばこ・アルコール	(2)②	母子健康包括支援事業（子育て世代包括支援センター事業）	妊娠期から子育て期まで継続して保健師・助産師が相談支援の際、喫煙やアルコールの影響について啓発指導（子育て包括相談・支援事業と関連）	○	○				保健センター	こども支援課		-	-	全ての妊婦と妊娠届時の面談の際（460件）、喫煙やアルコールに関する内容が含まれたアンケートを実施し、対象者に指導を行ったことにより、喫煙による胎児への影響について普及啓発が図られた。	A	継続	
5 たばこ・アルコール	(2)① (3)②	小・中学校の取組	喫煙防止や薬物乱用防止のための教育		○				学校教育課	西入間警察署 家庭教育アドバイザー 教育センター		-	-	喫煙防止と薬物乱用防止について意識啓発ができた。	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)①	市ホームページに健康増進サイトを開設	健康増進サイト「キラキラ健康づくり」の運営及びサイト内における健康の維持増進等に関する周知啓発			○	○	○	秘書広報課	健康長寿課	○	-	-	周知の必要が高いと思われるものについては、広報紙やSNSからHPへ誘導するなど、複数媒体を組み合わせた情報発信を行った。	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)①	職員健康相談	健康相談の実施			○	○		人事課			12	7	産業医による適切な助言により、職員の疾病に対する不安の解消や適切な治療等へ導いた。	B	継続	
6 健康診査の充実	(3)②	被保護者健康管理支援事業	40歳以上の生活保護受給者に健康診査の受診勧奨を実施				○	○	福祉政策課	保健センター		1	539	・健診受診者の状況を把握でき、受診率の向上につながった。 (R4 44/583=7.5%) (R3 37/572=6.5%)	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)①	広報特集による啓発「つ・る・が・し・ま」でフレイル予防	フレイル予防の普及啓発のための情報提供			○	○	○	健康長寿課	保健センター	○	1	-	フレイル予防について普及啓発が図られた。	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)①	フレイル予防講座	フレイルについての知識の普及・啓発					○	健康長寿課	保健センター		10	134	フレイル予防について普及啓発が図られた。	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパ ワー 事業	実施 延べ 回数	参加 延べ 人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
6 健康診査 の充実	(2)①	健康長寿サポーター 養成講座	自ら健康づくりを実践し、健康づく り情報を周囲に伝え広める市民を養 成				○	○	健康長寿課	埼玉県健康長寿課 スーパー健康長寿サ ポーター	○	3	53	53名の健康長寿サポ ーターを養成したこと により、健康づくり運 動の普及が図られた。	B	継続	
6 健康診査 の充実	(2)① (3)①	後期高齢者への訪問 指導 (※保健事業と介護予 防の一体的推進事業の一部 再掲)	健康状態不明者や口腔機能低下者、 低栄養者、生活習慣病重症化リスク が高い方への、保健師等による訪問 指導 (※後期高齢者健診結果から対象者 を抽出しているため再掲)					○	健康長寿課	保健センター 保険年金課		再掲 126	再掲 126	訪問指導により、生活 習慣の改善、受診など リスク回避のための行 動変容が図られた。	B	継続	
6 健康診査 の充実	(2)① (3)①	フレイルサポーター 養成講座	市民による市民のためのフレイル チェック測定会を実施する「フレ イルサポーター」を養成する講座				○	○	健康長寿課	保健センター 東京大学高齢社会総 合研究機構		6	54	9名のフレイルサポ ーターを養成すること ができ、体制の強化が 図られた。	B	見直し	フレイルサポーター 養成講座は隔年実施 とし、サポーターの フォローアップ講習 を実施していくこと とする。
6 健康診査 の充実	(2)① (3)①	フレイルチェック測 定会	市民フレイルサポーターが中心とな り、質問票や測定機器を活用したフ レイル予防の普及・啓発					○	健康長寿課	保健センター		14	108	フレイル予防について 普及啓発することが できた。	B	継続	
6 健康診査 の充実	(2)① (3)①	介護予防ボランテ ィア「つるフィット」 養成講座	地域の自治会館や集会所などで高 齢者に対し、運動指導を実施するボ ランティアを養成する講座					○	健康長寿課	埼玉県理学療法士会	○	7	67	10名の介護予防ボラ ンティアを養成するこ とができ、体制の強化 が図られた。	B	継続	
6 健康診査 の充実	(2)①	フレイル予防講演 会	フレイル予防を普及啓発する講演 会「健康長寿 鍵は“フレイル予 防”」を実施					○	健康長寿課	東京大学高齢社会総 合研究機構 鶴ヶ島市フレイルサ ポーター		1	120	フレイル予防の普及 啓発が図られること もに、フレイルサポ ーターのモチベーシ ョン向上に資するこ とができた。	B	見直し	フレイル予防講演 会は、隔年実施とし、 令和5年度は血管若 返り講演会を実施す る。
6 健康診査 の充実	(2)①	血管若返り啓発リー フレットの改訂	生活習慣病予防（動脈硬化予防）を 普及啓発するリーフレットの改訂及 び配布					○	健康長寿課	高沢謙二東京医科大 学名誉教授		1	-	生活習慣改善による疾 病・突然死予防の普及 啓発が図られた。	B	廃止	改訂が終了したた め。 (作成した5,000部を 継続して活用・配布 しつつ、動画の配信 などさらに効果的な 手法を検討する)

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
6 健康診査の充実	(3)①	疾病予防推進事業	国民健康保険加入者を対象に人間・脳ドックの費用補助			○	○	○	保険年金課	医師会		年度内に1回	274	疾病の早期発見や予防に寄与した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(3)①	後期高齢者人間ドック等助成事業	後期高齢者医療制度加入者を対象に人間・脳ドックの費用補助					○	保険年金課	医師会		年度内に1回	93	疾病の早期発見や予防に寄与した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(3)①	特定保健指導	メタボリックシンドローム改善のための保健、栄養指導				○	○	保険年金課	医師会 スギ薬局 ウエルシア薬局		年度内に1回	83	生活習慣改善やメタボリックシンドロームの改善に寄与した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	特定健康診査	身体計測、血液検査など				○	○	保険年金課	医師会 保健センター		年度内に1回	4,232	疾病の早期発見や生活習慣病予防に寄与した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	後期高齢者健康診査	身体計測、血液検査など					○	保険年金課	医師会 保健センター		年度内に1回	3,175	疾病の早期発見や生活習慣病予防に寄与した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(3)①	糖尿病性腎症保健指導プログラム提供修了者への継続支援	糖尿病性腎症保健指導対象者への継続した支援の実施			○	○	○	保険年金課	健康長寿課	○	年度内に2回	13	自己管理の継続を支援することで、人工透析への移行を抑止できた。	A	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	骨粗しょう症検診	DXA法（橈骨）測定				○	○	保健センター	ティーエムクリニック		2	282	通知による受診勧奨を行い、検診の制度や日程を周知した結果、受診者数が増加した。	A	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	胃がん検診	胃部レントゲン検査など				○	○	保健センター	医師会 埼玉県健康づくり事業団		集団4、個別6/1～1/31	763	土日の検診日を設け、働く世代の方にも受診しやすい環境づくりを行ったことや受診日直前の電話勧奨により受診者数の増加につながった。	B	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	子宮頸がん検診	子宮頸部の細胞診、内診など			○	○	○	保健センター	医師会		6/1～1/31	1,037	事前に受診勧奨通知を送付したことで、受診者数の増加につながることができた。	B	継続	

第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画（後期計画） 令和4年度取組一覧表

資料1-②

※対象ライフステージ ①乳幼児期(0～5歳頃)、②学童・思春期(6～19歳頃)、③青年期(20～39歳頃)、④壮年期(40～64歳頃)、⑤高齢期(65歳以上)

分野	取組目標	事業名	事業概要	※対象ライフステージ					所管課	令和3年度実績					令和4年度実施		
				①乳幼児期	②学童・思春期	③青年期	④壮年期	⑤高齢期		連携先 (部署名・団体名)	マンパワー 事業	実施延べ回数	参加延べ人数	成果	評価 A:高い B:普通 C:低い	方向性 ・継続 ・見直し ・統合 ・廃止	見直し・統合・廃止 の判断理由
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	大腸がん検診	便潜血検査				○	○	保健センター	医師会		6/1～ 1/31	5,429	特定健診の受診券に大腸がん検診の受診券を同封し受診勧奨を行ったことや特定健診と同時受診できる体制にしたため、受診率向上、疾病の早期発見、早期治療につながった。	B	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	乳がん検診	乳房エックス線撮影など				○	○	保健センター	医師会 埼玉県健康づくり事業団		集団12、 個別6/1～ 1/31	1,040	土日の検診日を設け、働く世代の方にも受診しやすい環境づくりを行ったことや受診日直前の電話勧奨により受診者数の増加につながった。	B	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	肺がん検診	胸部レントゲン検査				○	○	保健センター	医師会 埼玉県健康づくり事業団		8	1,586	土日の検診日を設け、働く世代の方にも受診しやすい環境づくりを行ったことや受診日直前の電話勧奨により受診者数の増加につながった。	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)① (3)①	健康講座	疾病予防や健康運動指導士による運動を主とした健康づくりの教室と生活習慣病予防に関する講座 (尿漏れ、口腔、脂質異常症、骨粗しょう症)				○	○	○	保健センター		5	69	知識の普及啓発が図られるとともに疾病発症のリスクが軽減できた。	B	継続	
6 健康診査の充実	(1)① (2)① (3)①②	肝炎ウイルス検診	B型・C型肝炎のウイルス検査				○	○	保健センター	医師会		6/1～ 1/31	147	受診者が自身の感染状況を認識する機会を提供し、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及することができた。	B	継続	
6 健康診査の充実	(2)①	小・中学校の取組	授業などによる生活習慣病の予防に関する保健学習、定期健康診断の実施、保健だよりの発行などによる保健指導		○				学校教育課	学校区				各学校において課題解決を図り、児童・生徒が健康維持増進について考えることができた。	B	継続	